

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	自立支援、介護予防又は重度化防止の推進
現状と課題	
<p>奈良県の高齢者人口は、平成12年度より増加が続き、高齢化率も平成21年以降、全国平均を上回っている。また、これに伴い、要介護認定者数や介護給付費は年々増加しており、今後も増加が予測されている。</p> <p>高齢者本人が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるためには、各市町村において地域の実情に応じた自立支援、介護予防・重度化防止の効果的な推進が課題となっている。</p>	
第8期における具体的な取組	
<ol style="list-style-type: none">1 多職種参画による自立支援型地域ケア会議の推進2 地域包括支援センターの機能強化と人材育成3 地域マネジメントに基づいた総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の推進	
目標（事業内容、指標等）	
<ol style="list-style-type: none">1 多職種参画で自立支援型地域ケア会議を開催する市町村数 32市町村（R1）→39市町村（R5）2 住民運営の通いの場に取り組む市町村数 33市町村（R1）→39市町村（R5）	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none">● 時点<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/>中間見直しあり<input checked="" type="checkbox"/>実績評価のみ● 評価の方法<ul style="list-style-type: none">・多職種参画で自立支援型地域ケア会議を開催する市町村数、住民運営の通いの場に取り組む市町村数について、市町村の取組状況調査を実施する。	